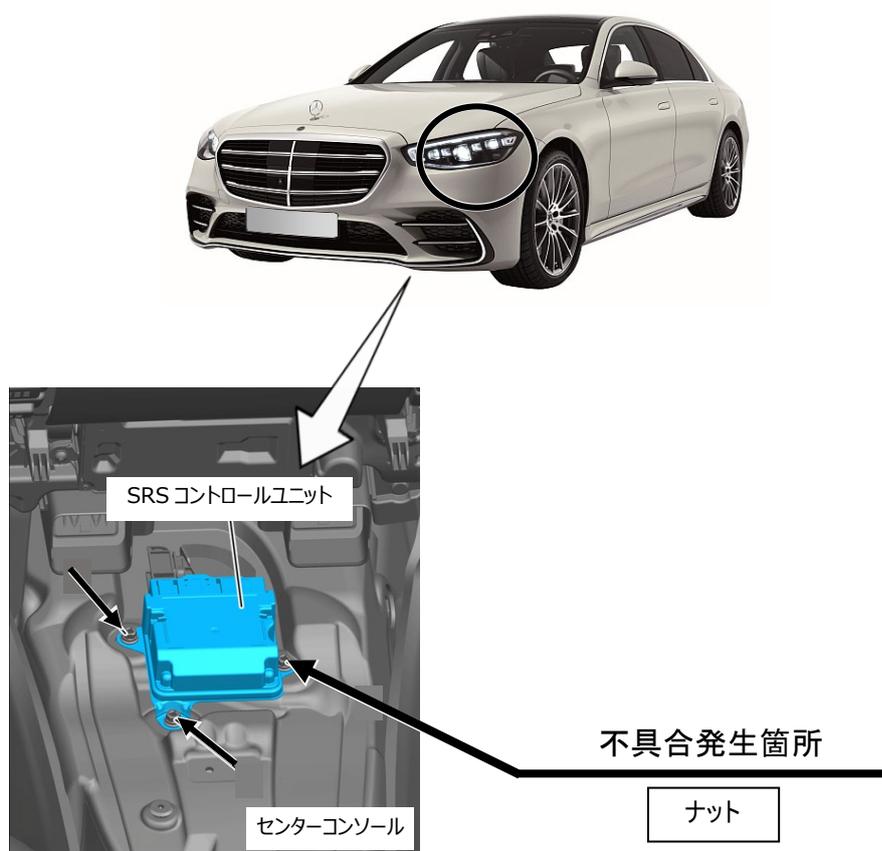


## 改善箇所説明図



注：  は、点検して規定トルクで締付け直す部位を示す。

SRS(乗員補助拘束装置)コントロールユニットにおいて、製造時の取付けが不適切なため、確実に固定されていないものがある。そのため、事故等の衝突時にエアバッグが適切に展開しない、あるいは走行中の振動で正しくない加速度値を検出することで突然エアバッグが展開し、最悪の場合、乗員が負傷するおそれがある。

### 改善の内容

全車両、SRS コントロールユニットを固定しているナットを一度外して取付け状態を点検し、規定トルクで締付け直す。なお、ねじ山に損傷があった場合は、関連する部品を全て新品に交換する。

識別： 車台番号の付近に黄色の識別ペイントを塗布する